



神崎小だより

神崎町立神崎小学校

平成30年12月18日

学校教育目標・・・心豊かでたくましく生きる児童の育成
めざす児童像・・・なかよく かしこく たくましく やりぬく
合 言 葉・・・ 「希望の登校 満足の下校」
早寝・早起き・朝ご飯

今年を振り返って・・・「主役は君だ！全力で勝利へ走れ！」全力は疲れるけど気持ちいい・・・
今年の夏は40度近い気温が続き、熱中症対策で水泳を制限する日が数日ありました。こんな年は、これまでにはなかったことです。自分たちの小学校時代とはずいぶんと変わりました。これからこうした気候が常態化していくのかと思うと不安になります。そのような環境下での運動会練習でしたが、本番は、記憶に残る素晴らしい展開になりました。「事実は小説よりも奇なり」と言いますが、こんな展開を誰が予想できたでしょうか。紅白の勝利がリレーの結果にゆだねられたのです。この結果は、180名の児童一人一人の自軍勝利への思いと行動がドラマを生んだのだと思います。みんなが気持ちや力を合わせてやれたからこそその結果であり、感動だったのではないかと思います。

1月の行事予定

- 7 (月) 3学期始業式
- 8 (火) あいさつ運動 給食開始
- 9 (水) 書き初め会
- 14 (月) 成人の日
- 17 (木) TBS 出前授業
- 21 (月) 教育相談週間
- 22 (火) 6年校外学習 (国会・日体大)
- 25 (金) 家庭教育学級合同閉級式
- 29 (火) 6年生租税教室 (3校時)
- 30 (水) クラブ (3年見学)

「過去に目を閉ざすものは、現在にも盲目になる」 ワイツゼッカー元ドイツ大統領

6年社会科で行った戦争体験者(小松在住 高橋節子さん)からご自身の体験談をパネルの写真や資料を使用しながらお話いただきました。このことは先日の学校だよりでも掲載したところです。後日、子供たちは、お礼に感想文を書き冊子にしたものを高橋節子さんに届けたところ、わざわざ学校にお出でいただき、お手紙をいただきました。私も読ませていただき(左側参照)、是非保護者の皆さんにも紹介したいと思い、子どもたちの感想の一部を紹介するとともに手紙の内容も併せて紹介させていただきます。

- 家に帰ってから火垂の墓を見て、戦争の悲惨さがとても伝わってきました。戦争で死んでしまった人たちのためにこれから先50年、100年、200年たっても戦争がないようにしたいです。
- 私のおばあちゃんは「お母さんもお父さんも安全なところに私を置いて死んでしまった」と言っていました。高橋節子先生のお陰で戦争のことがよくわかりました。
- お話はとても分かりやすく、とても聞きやすかったです。僕はこの学習を通して、もっといろいろな人に戦争はやってはいけないということを広めたいです。
- 私たちは、実際、戦争を体験したわけではないけれど、今日、聞いたお話を次の世代にも伝えていきたいです。そして、ずっとずっと平和な暮らしができるようにしたいです。
- 先生のお話はとても分かりやすかったです。戦争のつらい経験だったのに、私たちに教えていただけてとてもうれしいです。このことをみんなに伝えて戦争がおこらないように私も私で考えていこうと思いました。
- 節子先生のお陰で戦争の残酷さや悲惨さがわかりました。戦争は戦っている兵隊さんだけでなく、国民にも大きな被害が及ぼされることが改めてわかりました。
- 昔の人のことを考えたら着るものはあるし、食べ物は何でもあるし、住むところもある・・・平和とはどんなものなのかを忘れずに生きていきたいです。

神崎小学校の皆さんへ
 教頭先生が皆さんの感想文を届けてくださいましたので、早速読ませていただきました。感想文を読みながら一人一人の顔が浮かび、私が伝えたいことがしっかりと伝わったことに嬉しくなりました。

平和な世の中に生まれ育ち、本当に良かったこと。戦争とは何百万人の人々が苦しみ抜いてなくなったこと。助かった人々も、今もって犠牲になった人々のことが忘れられず苦しんでいること。そして、あのむごい戦争は二度と起こしてはならないことが分かってもらい話してよかったと思いました。さすが6年生だと一人一人にお礼を言いたいくらいです。

今、日本は戦争の恐ろしさを知らない人たちが増えています。本や話を聞いただけでは戦争の恐ろしさは理解できません。戦争は多くの兵士をなくし、一般市民を巻き込み、相手の国にも被害を与えます。今戦争を体験した人が減る中で、私が生かされている意味を考えるとみんなにこの体験を伝えなければと思い、語り部をしています。

戦後73年。あの戦争で日本は焼け野原となり、食べるものも着るものも、家もなくなった中から、みんなで力を合わせ今の平和な日本を裏面へ続く

お届けいただいた実際の手紙です

築き上げてきました。これは世界に誇れることです。

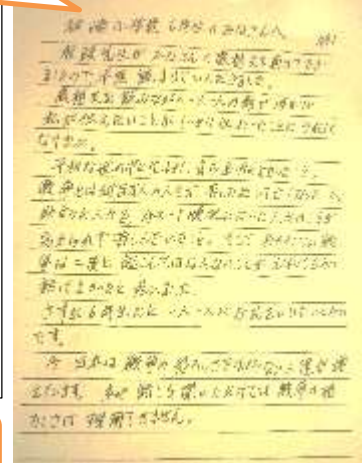
『人の幸せとは、普通の生活ができることです』これからは、皆さんで、この長く続いた平和な日本を守る人になってください。

最後に自分の命と同じように多くの人々の命を大切にできるようになってください。ありがとうございました。

校長先生、教頭先生、先生方ありがとうございました。

《表題の言葉について》

第2次世界大戦終了40周年の1985年5月、「荒野の40年」と題した議会演説で「過去に目を閉ざす者は現在にも盲目になる」と訴え、ナチス・ドイツによる犯罪を「ドイツ人全員が負う責任」だと強調。歴史を直視するよう国民に促した言葉は、90年の東西ドイツ統一後もドイツの戦争責任を語る際の規範となった。



知って得する親業講座・「子どもの自立心を育てるコミュニケーション」

◎ 子どもが困っている時・悩んでいる時には避けたい聞き方

- 7 同意：肯定的評価・判断を下す。同意する
- 8 侮辱：悪口を言う。馬鹿にする。辱める。
- 9 解釈：子供の行動の動機や原因を、親が分析する。
- 10 激励：子供の気分を良くして、今の状態から抜け出させようとする。
- 11 尋問：親が問題解決するために原因・動機・理由を知ろうとする。
- 12 ごまかし：子供の気をそらそうとする。



◎ 子どもが困っている時・悩んでいる時に効果的な聞き方

受動的な聞き方

- ① 黙って聞く ② 相づちを打つ (そう へえー ふーん ほう なるほど)
- ③ 心の扉をひらく言葉 (もう少し聞きたいわ 話してみて どう思っているの)

能動的な聞き方

相手の言った言葉を

- ① 繰り返す ② 言い換える ③ 気持ちを汲む



文化・芸術分野も頑張っています！郡市書写展・図工美術作品展

〈図工・美術作品展〉

描画の部

- 1年 鈴木彩優里
- 2年 根本 義己
- 3年 太田 亜蓮 石渡 龍翔 相沢 采里
- 4年 寺内 琴音 飯田 大翔
- 5年 椿 遥花
- 6年 平野 暉人 金澤 辰海

デザインの部

- 2年 森 智貴

立体の部

- 5年 根本 航拓 渡邊 爽



〈平成30年度香取郡市書写展覧会〉

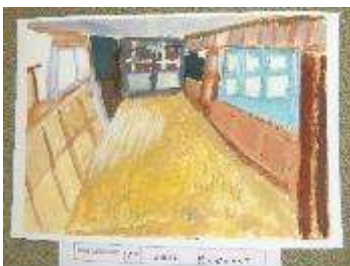
- 1年 塚本 稜 (最優秀賞)
- 4年 神崎 敦司 (優秀賞)
- 5年 渡辺ひより (最優秀賞)

入選・入賞おめでとうございます。



この作品は、香取支部で高い評価を受け、来年度県の展覧会に出品される予定です。おめでとうございます。

思い出のろう下



6年：金澤 辰海

大迫力の硫黄の煙



6年：平野 暉人

陽気なギター



5年：渡邊 爽

いろいろ動物



2年：森 智貴